

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致活動報告について（1/2）

- 今回の招致成功は、2016年招致活動の経験の上に実現したものであり、足かけ8年にわたる関係者の努力が結実したもの
- 国、全国の自治体、スポーツ界、経済界、都議会等が一致団結し、オールジャパン体制で招致活動を推進、都民・国民の支持の高まりや、全国への招致気運の広がりを受け獲得できたもの
- 今回の招致活動について総括するとともに、貴重な取組の記録を残すことを目的として報告書を取りまとめ

1 招致活動の概要

(1) 立候補表明と申請ファイル提出（平成23年7月～）

- 7月、東京都として立候補表明
- 9月、招致委員会を設立し、理事長に竹田恆和JOC会長が就任
- 平成24年2月、申請ファイルをIOCに提出
- 同年5月、イスタンブール、マドリードとともに立候補都市に選定

(2) オールジャパン体制確立と招致気運の醸成（平成23年10月～）

- スポーツ界、国、経済界、都議会等との連携を強化し、オールジャパン体制を早期に確立
- ロンドン大会での日本人選手の活躍や、招致議連を中心とする署名活動、経済界との連携等、多方面にわたり招致気運の醸成を推進

【支持率】平成24年5月：47% → 平成25年3月：70%

(3) 2012年ロンドン大会でのPR（平成24年8月）

- 大会期間中に、ロンドン市内に設けられたJOCジャパンハウスでプロモーション活動を展開
- 期間中に開催された国際レセプションでは、IOC委員をはじめ多数の国際的VIPに東京の魅力をアピール
- 国際競技連盟関係者に積極的に接触し、東京の会場計画を説明

(4) 立候補ファイル提出（平成25年1月）

- 2016年の大会計画を基礎としつつ、関係者との議論や情報収集を踏まえブラッシュアップを図り、立候補ファイルを提出
- ロンドンで招致委員会理事長や都知事等による記者会見を実施

(5) IOC評価委員会の受入（平成25年3月～）

- 評価委員会に対し、ビジョン、レガシー等の14テーマについてプレゼンテ
- 競技会場予定地での各種イベント等により、歓迎ムードや招致気運の盛り上
- 評価委員会の調査結果では、コンパクトな大会計画、財政基盤、輸送システ

(6) 国際招致活動（平成25年1月～）

- スポーツ関係会議や国際スポーツ大会など、IOC委員や関係者が集まる機会を捉え、オールジャパン体制でプロモーション活動を展開
 - ◇ 平成25年5月 スポーツアコード会議
 - ◇ 6月 国内オリンピック委員会連合（ANOC）総会
 - ◇ 7月 テクニカル・ブリーフィング

◇ 9月7日 IOC総会

開催都市に決定

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会招致活動報告について（2/2）

2 招致活動報告書の構成

■ 第1章 申請都市段階

招致表明、立候補申請手続き、申請ファイル提出、立候補都市の選定等

■ 第2章 立候補ファイル作成段階

ロンドンオリンピック・パラリンピック競技大会、立候補ファイルの作成及び提出

■ 第3章 IOC評価委員会

国との調整・連携、プレゼンテーション、会場視察、公式歓迎夕食会、メディア対応、

■ 第4章 国際招致活動

スポーツ・アコード会議、ANOC（国内オリンピック委員会連合）総会、世界水泳選手権バルセロナ大会等

■ 第5章 テクニカル・ブリーフィング

プレゼンテーション、ブース展開、メディア対応

■ 第6章 IOC総会

出陣式、国との調整・連携、開催都市決定応援ツアー、都議団の派遣、最終選考結果等

■ 第7章 招致連携体制

東京都議会の活動及び連携、オールジャパン体制の確立、スポーツ振興に係る庁内連絡会議の設置等

【招致に係る東京都議会の主な活動】

H23年10月	東京都議会招致決議
H24年6～8月	都議会議員による全国訪問（延べ144人） ➡ 38道府県及び18政令指定都市議会で招致決議
7月	ロンドンオリンピック視察（招致議員連盟会員8人）
8月	招致特別委員会によるパラリンピック視察
9月～	各種団体等に対する署名活動（180万人を超える署名）
12月	東京招致都民決起大会（各種団体の代表者など約800人が参加）
H25年8月	出陣式に66人の議員が出席
9月	ブエノスアイレスに15人の議員団を派遣し招致活動を展開 IOC総会に派遣団代表者が出席

■ 第8章 国内招致活動

招致ロゴの決定、招致気運醸成、マーケティング活動、オリンピック・ムーブメント

■ 第9章 広報PR活動

国内広報活動、国際広報活動、ウェブ広報活動、アスリート委員会による広報活動

■ 第10章 招致推進活動経費の内訳

招致推進活動経費の概要、招致推進活動経費総括表、年度別経費内訳表

3 招致活動経費等

（1）活動経費の内訳

（単位：億円）

東京都	区分	23年度 決算額	24年度 決算額	25年度 決算額	合計
	立候補ファイルの策定等 ・申請ファイル策定 ・立候補ファイル策定 など	3.1	7.2	-	10.4
	国際招致活動 ・IOC評価委員会対応 ・プレゼンテーション など	-	9.9	9.6	19.5
	招致気運醸成等 ・グッズ作成 ・シティー装飾 など	0.2	3.1	1.4	4.7
	合計	3.4	20.2	11.0	34.6

（単位：億円）

招致委員会	区分	23年度 決算額	24年度 決算額	25年度 決算額	合計
	国際招致活動等 ・国際招致活動 ・国内外広報活動 など	1.3	11.2	23.7	36.2
	管理費・手数料等 ・事務経費 ・手数料 など	0.2	4.0	13.6	17.7
	合計	1.5	15.2	37.2	53.9

※原則として表示単位未満四捨五入のため、合計に一致しないことがある。

（2）招致委員会の収支内訳（見込）

（単位：億円）

項目	金額
寄付金	48.9
協賛金	7.2
スポーツくじ助成金等	9.2
収入合計	65.3
招致活動経費	53.9
招致活動資産取得支出	0.2
借入金返済	7.5
残務処理・寄付等	3.7
支出合計	65.3
収支	0

○ 招致委員会の活動経費に充てる収入は、民間資金で調達

○ 招致活動経費のほか、前回招致の借入金返済、組織委員会への寄付等を行い、収支は均衡する見込み

○ 現在、招致委員会の解散に向けて清算手続き中